授業科目名・形態	疾病の成り立ち　　講義	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	松本　一仁	実務経験の有無	有	開講期	1年後期

【授業の主題】

「疾病の成り立ち」とは、「病理学」という学問領域に属しており、病気の原因や病気の成り立ち、発生機序を明らかにする学問である。病気に伴い患者の身体の中で、臓器・組織・細胞にどのような変化が生じているのかを学び、疾病の成り立ちを理解する分野である。

【到達目標】

代謝障害・循環障害・炎症・免疫異常・先天異常・腫瘍などの総論に加えて、各論では各臓器における主要な疾患の病理発生のメカニズムを理解し、説明できることを目標とする。

【授業計画・内容】

第 1 回　病理学の領域、病因論、正常臓器の外観
第 2 回　細胞・組織の障害と修復
第 3 回　循環障害
第 4 回　炎症
第 5 回　免疫病理学
第 6 回　先天異常と遺伝子異常
第 7 回　腫瘍
第 8 回　循環器系の疾患
第 9 回　血液・造血器系の疾患
第10回　呼吸器系の疾患
第11回　消化器系の疾患Ⅰ（食道・胃・腸）
第12回　消化器系の疾患Ⅱ（肝・胆・膵）
第13回　泌尿器・男性生殖器系の疾患
第14回　女性生殖器・乳腺の疾患
第15回　内分泌・神経系の疾患

【授業実施方法】

講義形式（テキスト、配布プリント、スライドの併用）

【授業準備】

スライドで組織や臓器の所見を良く観察し、講義内容については復習を中心に学習すること。

【主な関連する科目】

人体の構造と機能

【教科書等】

「系統看護学講座」専門基礎分野　疾病のなりたちと回復の促進［1］病理学　大橋健一、他著　医学書院

【参考文献】

わかりやすい病理学（改訂第5版）　岩田隆子監修　南江堂

【成績評価方法】

筆記試験90%、授業態度10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

臨床検査専門医として勤務。この経験を活かして実践的な授業にしたい。

【学生へのメッセージ】

疾病の成り立ちは、疾患治療や看護の基盤となる分野で、しっかりと身につけてほしい。